

みやまの風



令和7年8月27日(水)発行

園長 津田 将美

寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

夏の思い出

おうちの方々と楽しい時間をすごした夏祭り(お楽しみ会)の後、寄幼稚園恒例の「流しそうめんパーティー」が行われました。

今年も、山岸風香先生のご家庭から流しそうめん用の青々とした立派な竹をいただき、正に夏を感じる環境設定の中、楽しくおいしい時間をすごすことができました。

今年の夏は例年以上に猛暑が続き、暑さに負けそうになる時もありましたが、このような行事の中での子どもたちの様子を見てみると、暑さを共に楽しもうという気持ちも湧いてきます。

感動の表情、共に喜ぶ姿、励まし合う声、達成感あふれる笑顔、そのどれもが夏の思い出として心に残るものとなりました。

流しそうめん発祥の地は宮崎県の高千穂町で、昭和30年生まれの意外と新しい食べ方だそうです。暑い夏の野良仕事の際に野外でそうめんを茹で、竹と高千穂峡の冷水を利用して涼を得た光景から始まったものと言われています。暑い夏の野良仕事、その中で暑さを楽しみ生活や食文化を豊かにする先人の知恵がつまっているようです。

子どもたちの様子にも、正に「暑さを楽しむ」姿勢が前面に出ていました。絶対に逃すまいとそうめんキャッチの構えをとる子、友だちと分け合い笑顔でそうめんをほおばる子、何度も何度もお代わりをしておなかいっぱい食べる子等々、そこには先人の知恵に負けないうくましさがありました。

そんな子どもたちの様子を見る職員にも、更に子どもたちの願いに応えたいという願いが生まれ、夏の思い出は続いていきます。

7月25日の預かり保育では、川原遊びプログラムの集大成として秦野戸川公園に行ってきました。お休みがいて3名の参加となりましたが(大人は4名)、暑い中遊具で遊んだり、水遊びをしたりと楽しい時間を過ごすことができました。

あいにく水量が少なく、子どもたちが作ったいかだに乗ることはできませんでしたが、川原遊びに来ていたご家族から捕まえたかじかをたくさんいただき、生き物観察が始まりました。

間近でかじかを観察して、また感動。最後に川に返しながらか、やさしい眼差しで「さよなら」しました。

いよいよ2学期が始まりますが、残暑は更に続きそうです。

「夏の思い出」も、まだまだ続きがありそうです。

